



Data Message Standards

PPIHグループ 流通BMS『DMS』

発注・出荷・受領・支払 マッピングシート

Web型BMSプラン

Ver.1.14

REALIT
株式会社リアリット

【変更履歴】

変更番号	バージョン 変更日	変更内容
1	Ver1.00	新規作成
	-	
2	Ver1.01	発注メッセージの2種類について説明書きを追加
	2016/7/23	
3	Ver1.02	標準CSVレアウト（発注_レガシー）、標準CSVレアウト（発注） 直接納品先納品日、最終納品先納品日の設定要領を追記
	2016/8/4	
4	Ver1.03	全てのシート 受信者ID、送信者・最終受信者・直接受信者ステーションアドレスの項目活用方法の補足説明 「振分コード」を「営業区分」に変更
	2016/8/5	
5	Ver1.04	受領、受領訂正 数量合計の設定要領を修正
	2016/9/26	
6	Ver1.05	出荷 直接納品先納品日、最終納品先納品日について店着日になることの注意書きを追記 標準CSVレアウト（発注） 自由使用欄、自由使用欄半角カナ、商品名の新規の項目利用方法の記載修正 全てのシート サンプル値と使用桁数の適正化
	2016/9/30	
7	Ver1.06	取引番号（発注・返品） 週間発注時の伝票番号についての記載を削除
	2016/11/28	
8	Ver1.07	出荷 仮伝フラグの項目利用方法を追記 賞味期限の項目利用方法を追記 製造日の項目利用方法を追記 製造番号の項目利用方法を追記
	2017/11/27	
9	Ver1.08	法人コードの追加 4157:UDリテール株式会社 4158:WITHDOIT株式会社
	2017/12/28	
10	Ver1.09	標準CSVレアウト（発注_レガシー）の以下項目を修正 ・直接納品先名称、直接納品先名称カナ、 最終納品先名称、最終納品先名称カナ、 計上部署名称、計上部署名称(カナ) ⇒伝票ヘッダー.店舗名から「TEST」固定に変更 ・商品名、商品名(カナ) ⇒伝票明細.商品名から「TEST」+伝票明細.商品名に変更 標準CSVレアウト（支払）を追記
	2018/6/27	
11	Ver1.10	出荷の欄外に原単価の注意書き（コメント）を追加
	2018/11/1	
12	Ver1.11	法人コードの追加 4159:株式会社富士屋商事
	2019/1/9	

【変更履歴】

変更番号	バージョン 変更日	変更内容
13	Ver1.12	法人コードの追加 4160：株式会社橋百貨店 法人コードの削除 3201：ドイト株式会社 4158：WITHDOIT株式会社 4155：株式会社ライラック
	2020/8/13	
14	Ver1.13	表紙レイアウトの変更
	2021/3/30	
15	Ver1.14	法人コードの削除 4156：株式会社ダイシン百貨店
	2022/2/15	

GSV階層構造イメージ

#	CSVイメージ	スキーマイメージ																																																												
1	<p>■ 発注・受領・受領訂正・支払</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>SBDH</th> <th>メッセージ情報</th> <th>ファイルヘッダ</th> <th>取引ヘッダ</th> <th>明細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>S-1</td><td>A-1</td><td>B-1</td><td>C-1</td><td>D-1</td></tr> <tr><td>S-1</td><td>A-1</td><td>B-1</td><td>C-1</td><td>D-2</td></tr> <tr><td>S-1</td><td>A-1</td><td>B-1</td><td>C-2</td><td>D-3</td></tr> <tr><td>S-1</td><td>A-1</td><td>B-1</td><td>C-2</td><td>D-4</td></tr> <tr><td>S-1</td><td>A-1</td><td>B-1</td><td>C-2</td><td>D-5</td></tr> <tr><td>S-1</td><td>A-1</td><td>B-2</td><td>C-3</td><td>D-6</td></tr> <tr><td>S-1</td><td>A-1</td><td>B-2</td><td>C-3</td><td>D-7</td></tr> <tr><td>S-1</td><td>A-1</td><td>B-2</td><td>C-3</td><td>D-8</td></tr> <tr><td>S-1</td><td>A-1</td><td>B-2</td><td>C-3</td><td>D-9</td></tr> </tbody> </table>	SBDH	メッセージ情報	ファイルヘッダ	取引ヘッダ	明細	S-1	A-1	B-1	C-1	D-1	S-1	A-1	B-1	C-1	D-2	S-1	A-1	B-1	C-2	D-3	S-1	A-1	B-1	C-2	D-4	S-1	A-1	B-1	C-2	D-5	S-1	A-1	B-2	C-3	D-6	S-1	A-1	B-2	C-3	D-7	S-1	A-1	B-2	C-3	D-8	S-1	A-1	B-2	C-3	D-9											
SBDH	メッセージ情報	ファイルヘッダ	取引ヘッダ	明細																																																										
S-1	A-1	B-1	C-1	D-1																																																										
S-1	A-1	B-1	C-1	D-2																																																										
S-1	A-1	B-1	C-2	D-3																																																										
S-1	A-1	B-1	C-2	D-4																																																										
S-1	A-1	B-1	C-2	D-5																																																										
S-1	A-1	B-2	C-3	D-6																																																										
S-1	A-1	B-2	C-3	D-7																																																										
S-1	A-1	B-2	C-3	D-8																																																										
S-1	A-1	B-2	C-3	D-9																																																										
2	<p>■ 出荷伝票</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>SBDH</th> <th>メッセージ情報</th> <th>ファイルヘッダ</th> <th>取引ヘッダ</th> <th>明細</th> <th>出荷荷姿情報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>S-1</td><td>A-1</td><td>B-1</td><td>C-1</td><td>D-1</td><td></td></tr> <tr><td>S-1</td><td>A-1</td><td>B-1</td><td>C-1</td><td>D-2</td><td></td></tr> <tr><td>S-1</td><td>A-1</td><td>B-1</td><td>C-2</td><td>D-3</td><td></td></tr> <tr><td>S-1</td><td>A-1</td><td>B-1</td><td>C-2</td><td>D-4</td><td></td></tr> <tr><td>S-1</td><td>A-1</td><td>B-1</td><td>C-2</td><td>D-5</td><td></td></tr> <tr><td>S-1</td><td>A-1</td><td>B-2</td><td>C-3</td><td>D-6</td><td>E-1</td></tr> <tr><td>S-1</td><td>A-1</td><td>B-2</td><td>C-3</td><td>D-7</td><td>E-2</td></tr> <tr><td>S-1</td><td>A-1</td><td>B-2</td><td>C-3</td><td>D-7</td><td>E-3</td></tr> <tr><td>S-1</td><td>A-1</td><td>B-2</td><td>C-3</td><td>D-8</td><td></td></tr> </tbody> </table>	SBDH	メッセージ情報	ファイルヘッダ	取引ヘッダ	明細	出荷荷姿情報	S-1	A-1	B-1	C-1	D-1		S-1	A-1	B-1	C-1	D-2		S-1	A-1	B-1	C-2	D-3		S-1	A-1	B-1	C-2	D-4		S-1	A-1	B-1	C-2	D-5		S-1	A-1	B-2	C-3	D-6	E-1	S-1	A-1	B-2	C-3	D-7	E-2	S-1	A-1	B-2	C-3	D-7	E-3	S-1	A-1	B-2	C-3	D-8		
SBDH	メッセージ情報	ファイルヘッダ	取引ヘッダ	明細	出荷荷姿情報																																																									
S-1	A-1	B-1	C-1	D-1																																																										
S-1	A-1	B-1	C-1	D-2																																																										
S-1	A-1	B-1	C-2	D-3																																																										
S-1	A-1	B-1	C-2	D-4																																																										
S-1	A-1	B-1	C-2	D-5																																																										
S-1	A-1	B-2	C-3	D-6	E-1																																																									
S-1	A-1	B-2	C-3	D-7	E-2																																																									
S-1	A-1	B-2	C-3	D-7	E-3																																																									
S-1	A-1	B-2	C-3	D-8																																																										
3	<p>■ 出荷梱包(紐付けあり)</p> <p>未使用</p>																																																													
4	<p>■ 出荷梱包(紐付けなし)</p> <p>未使用</p>																																																													
5	<p>■ 値札</p> <p>未使用</p>																																																													

(ファイル形式) : CSV (改行文字) : カンマ (項目隔り) : タブ(クォート) : 文字コード) : SJIS (移行コード) : 936F (Windows実行)

※1: 移行先システムのみ、各パートで一回だけ発生している取引005 (固定長データ) を元に、本シート記載のマッピングのCSVデータをお送り致します。

No.	項目名	データ項目名	必須/任意	タイプ	桁数(文字数)	備考(文字数)	項目内容	利用形態	実行の項目名	サンプル値	添付桁数	項目活用方法の補足説明		
												新規の項目利用方法	既存の項目利用方法	
1	ヘッダバージョン	必須	文字	4	可変	0	ISOバージョン	○	ヘッダ	1.3	3	1.3 固定		
2	送信者ID	必須	文字	13	可変	0	送信者を示す10桁、取引先と親類の区分、種別コードあるいは伝票種別を使って送信者IDを決定し入力する	○	ヘッダ	4373440480009	13	GLNコード	取引先グループの伝票コード値	
3	受信者ID	必須	文字	4	可変	0	送信者IDがコードの場合は、「0000」、伝票の場合は「伝」と入れる	○	ヘッダ	GLN	3	GLN 固定	1.3 "GLN" 固定	
4	受信者ID	必須	文字	13	可変	0	送信者を示す10桁、取引先と親類の区分、種別コードあるいは伝票種別を使って送信者IDを決定し入力する	○	ファイルヘッダー	00070300	8	取引先コード(5桁) + "00" or 事業者区分(桁数)	伝票番号とデータを送信先(振込先)で	
5	受信者ID	必須	文字	4	可変	0	送信者IDがコードの場合は、「0000」、伝票の場合は「伝」と入れる	○	ファイルヘッダー	"0000"	4	"0000" 固定		
6	種別	必須	文字	12	可変	0	ドキュメント種別	○	ヘッダ	SecondGenEDI	12	"SecondGenEDI" 固定		
7	URLメタバージョン	必須	文字	4	可変	0	URLのメタバージョンを入力	○	ヘッダ	1P	2	"1P" 固定		
8	インスタンスID	必須	文字	80	可変	0	ビジネスメッセージの一意識別子。英数字を最大140文字程度のユニークIDを生成し入力する。	○	ヘッダ	2016022121300000	17	システム日時(YYYYMMDDHHMMSSYY)	システム日時(YYYYMMDDHHMMSSYY)	
9	メッセージ種別	必須	文字	355	可変	0	ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。	○	ヘッダ	Order	5	"Order" 固定		
10	送信タイプ	任意	ブール値	1	可変	0		○	ヘッダ		1			
11	データ送信日時	必須	日時	14	可変	0	メッセージ全体の作成日 - 時刻	○	ヘッダ	2007-11-24T12:00:00	14	システム日時(YYYY-MM-DD) + ナンズシステム日時(DD) + ナンズシステム時刻(00) + ナンズシステム時刻(SS)	システム日時(YYYY-MM-DD) + ナンズシステム日時(DD) + ナンズシステム時刻(00) + ナンズシステム時刻(SS)	
12	ナスト区分タイプ	任意	文字	13	可変	0	ナスト区分。このメッセージのデータが本番用のどのナスト用なのかを判別する。ナストデータの種別、ナストIDを指定する。	○	ヘッダ	固定	13		ナストの番号のみ使用 伝票番号を付与し 目付でセット	
13	ナスト区分インスタンス識別子	任意	文字	4	可変	0		○	ヘッダ	固定 "fest"	4		ナストの番号のみ使用 伝票番号を付与し 目付でセット	
14	ナスト区分識別子	任意	文字	1	可変	0		○	ヘッダ	固定 "1"	1		ナストの番号のみ使用 伝票番号を付与し 目付でセット	
15	最終送信タイプ	任意	文字	13	可変	0	最終送信者を示す10桁、最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスコープを作成する。	×	ヘッダ		13			
16	最終送信インスタンス識別子	任意	文字	13	可変	0		×	ヘッダ		13			
17	最終送信先識別子	任意	文字	13	可変	0		×	ヘッダ		13			
メッセージ詳細														
18	メッセージ識別子ID	必須	文字	MAX20	可変	0	メッセージ識別子。ISOのInstanceIdentifierに続く識別子に「00」を添付	○	ヘッダ	0000000000000000	18	"00" + インスタンスID	既定値あり	
19	送信先ステーションアドレス	任意	英数	8	固定	0	取引先の手続きと併用期間中、宛先(ステーションアドレス) 最後の送信情報の集計を行う場合に使用する。	○	ファイルヘッダー	99999999	8	そのままセット		
20	最終受信先ステーションアドレス	任意	英数	8	固定	0	取引先の手続きと併用期間中、宛先(ステーションアドレス) 最後の送信情報の集計を行う場合に使用する。	○	ファイルヘッダー	99999999	8	そのままセット		
21	最終送信先ステーションアドレス	任意	英数	8	固定	0	取引先の手続きと併用期間中、宛先(ステーションアドレス) 最後の送信情報の集計を行う場合に使用する。	○	ファイルヘッダー	99999999	8	そのままセット		
22	取引回数	任意	数字	MAX7	可変	0	このメッセージに含まれている取引回数の数。既定は伝票枚数である。取引先IDと最終伝票枚数。	○	ヘッダ	50	MAX7	伝票数をカウントして設定	伝票数をカウントして設定	
23	システム種別	任意	文字	13	固定	0		×	ヘッダ		13			
24	システム種別	任意	文字	13	固定	0		×	ヘッダ		13			
ファイルヘッダ														
25	URL固有バージョン	任意	文字	MAX20	可変	0	URL固有バージョン	○	ヘッダ		1.3	3	1.3 固定	
26	URL種別バージョン	任意	文字	MAX20	可変	0	URLメタバージョン	○	ヘッダ		1.3	3	1.3 固定	
27	URL種別名前空間	任意	文字	MAX80	可変	0	URLに属している構造のNamespace	×	ヘッダ					
28	URL種別名前空間番号	任意	文字	MAX20	可変	0	URLに属している構造のバージョン	×	ヘッダ					
29	支払人ID	必須	数字	MAX13	可変	0	商品の支払を行う小売業者(委託)を番号で指定する。通常は「発注者ID」と同じ値が入る。商品の支払グループに紐づく伝票番号を付与する。個人会社と支払先が異なる場合は、それぞれ異なる会社コードが入る。	○	伝票ヘッダー 伝票人ID	3230	4	そのままセット	3104 株式会社長瀬通 3230 株式会社ドットコム 4157 印リテック株式会社 4158 株式会社三井物産 4160 株式会社積善堂	
30	支払人ID	必須	数字	MAX13	可変	0	商品の支払を行う小売業者(委託)を番号で指定する。通常は「発注者ID」と同じ値が入る。商品の支払グループに紐づく伝票番号を付与する。個人会社と支払先が異なる場合は、それぞれ異なる会社コードが入る。	○	ヘッダ	0	1	"0" 固定		
31	支払人名称	任意	文字	MAX20	可変	0	「支払人ID」の名称(半角カナ)。	×	ヘッダ					
32	支払人名称カナ	任意	文字(半角)	MAX20	可変	0	「支払人ID」の名称(半角カナ)。	×	ヘッダ					
33	発注者ID	必須	数字	MAX13	可変	0	商品の発注を行う小売業者を番号で指定する。	○	伝票ヘッダー 発注者ID	3230	4	そのままセット	支払人IDと同様	
34	発注者ID	必須	数字	MAX13	可変	0	商品の発注を行う小売業者を番号で指定する。通常は「発注者ID」と同じ値が入る場合は「0」固定。	○	ヘッダ		1	"0" 固定		
35	発注者名称	任意	文字	MAX20	可変	0	「発注者ID」の名称。卸メーカで社内種別を作成する際の名称表示に使用。	○	ヘッダ	"0.5" + "84-F"	MAX20			3104-"0.5" + "84-F" 3230-"0.5" + "84-F" 4157-"0.5" + "84-F" 4158-"0.5" + "84-F" 4160-"0.5" + "84-F"
36	発注者名称カナ	任意	文字(半角)	MAX20	可変	0	「発注者ID」の名称(半角カナ)。卸メーカで、仕入種別を作成する必要がある場合、あるいは社内種別を作成する際の名称表示に使用。	○	ヘッダ	"0.5" + "84-F"	MAX20			3104-"0.5" + "84-F" 3230-"0.5" + "84-F" 4157-"0.5" + "84-F" 4158-"0.5" + "84-F" 4160-"0.5" + "84-F"
取引先ID														
37	取引先ID(発注 - 商品)	必須	数字	MAX10	可変	0	小売商が発注者に行う発注、商品の単位。 伝票番号と同じ。 "00" + 伝票番号 + 00	○	伝票ヘッダー 伝票番号	224721608	9	そのままセット		
38	取引先ID	必須	数字	MAX10	可変	0	取引先IDを指定する。伝票番号を付与する必要がある場合、「取引先ID」に付与。 (例: 取引先ID、取引先ID、取引先ID)	○	伝票ヘッダー 取引先ID	003	3	そのままセット		
39	最終取引先ID	任意	数字	MAX13	可変	0	卸メーカが商品を納品する場所(小売の物流センター)。 宛先をあらわす取引先ID。 小売商が発注者。 アパレル、生鮮食品以外の場合、必須項目となる。	○	伝票ヘッダー 最終取引先ID	000907	6	そのままセット	物流センター種別 最終取引先ID(納品先)を付与	
40	最終取引先ID	任意	数字	MAX13	可変	0	卸メーカが商品を納品する場所(小売の物流センター)。 宛先をあらわす取引先ID。 小売商が発注者。 アパレル、生鮮食品以外の場合、必須項目となる。	○	ヘッダ	0	1	"0" 固定		
41	最終取引先ID	任意	文字	MAX20	可変	0	「最終取引先ID」の名称(半角カナ)。卸メーカで社内種別を作成する際の名称表示に使用する。	○	ヘッダ	"0.5" + "84-F"	MAX20			
42	最終取引先ID	任意	文字(半角)	MAX20	可変	0	「最終取引先ID」の名称(半角カナ)。卸メーカで社内種別を作成する際の名称表示に使用する。	○	ヘッダ	"0.5" + "84-F"	MAX20			
43	最終取引先ID	必須	数字	MAX13	可変	0	最終取引先IDを指定する場所(小売の物流センター又は店舗)をあらわす取引先ID。 小売商が発注者。 卸メーカで社内種別を作成。 S29ラベル印字に使用する。	○	伝票ヘッダー 最終取引先ID	01013	5	そのままセット	種別コードを付与	
44	最終取引先ID	任意	数字	MAX13	可変	0	最終取引先IDを指定する場所(小売の物流センター又は店舗)をあらわす取引先ID。 小売商が発注者。 卸メーカで社内種別を作成。 S29ラベル印字に使用する。	○	ヘッダ	0	1	"0" 固定		
45	最終取引先ID	任意	文字	MAX20	可変	0	「最終取引先ID」の名称(半角カナ)。卸メーカで社内種別を作成する際の名称表示に使用する。	○	ヘッダ	"0.5" + "84-F"	MAX20			
46	最終取引先ID	任意	文字(半角)	MAX20	可変	0	「最終取引先ID」の名称(半角カナ)。卸メーカで社内種別を作成する際の名称表示に使用する。	○	ヘッダ	"0.5" + "84-F"	MAX20			
47	社上部署ID	必須	数字	MAX13	可変	0	商品が納品されることにより種別 - 最終納品先を指定する場所(小売の物流センター、または店舗)をあらわす取引先ID。 「最終取引先ID」または「最終取引先ID」のいずれか。伝票番号を付与しない場合は「0」固定。	○	伝票ヘッダー 社上部署ID	01013	5	そのままセット		
48	社上部署ID	必須	数字	MAX13	可変	0	商品が納品されることにより種別 - 最終納品先を指定する場所(小売の物流センター、または店舗)をあらわす取引先ID。 「最終取引先ID」または「最終取引先ID」のいずれか。伝票番号を付与しない場合は「0」固定。	○	ヘッダ	0	1	"0" 固定		
49	社上部署名称	任意	文字	MAX20	可変	0	「社上部署ID」の名称(半角カナ)。卸メーカで社内種別を作成する際の名称表示に使用する。	○	ヘッダ	"0.5" + "84-F"	MAX20			
50	社上部署名称カナ	任意	文字(半角)	MAX20	可変	0	「社上部署ID」の名称(半角カナ)。卸メーカで社内種別を作成する際の名称表示に使用する。	○	ヘッダ	"0.5" + "84-F"	MAX20			
51	社内種別コード	任意	英数	MAX13	可変	0	「社内種別コード」の名称。卸メーカで社内種別を作成する際の名称表示に使用する。	×	ヘッダ					
52	最終取引先ID	任意	文字	MAX20	可変	0	「最終取引先ID」の名称。卸メーカで社内種別を作成する際の名称表示に使用する。	×	ヘッダ					
53	最終取引先ID	任意	文字(半角)	MAX20	可変	0	「最終取引先ID」の名称(半角カナ)。卸メーカで社内種別を作成する際の名称表示に使用する。	×	ヘッダ					
54	最終取引先ID	必須	数字	MAX13	可変	0	最終取引先IDを指定する場所(小売の物流センター又は店舗)をあらわす取引先ID。 小売商が発注者。 卸メーカで社内種別を作成。 S29ラベル印字に使用する。	○	伝票ヘッダー 取引先ID	000105	6	そのままセット		
55	最終取引先ID	必須	数字	MAX13	可変	0	最終取引先IDを指定する場所(小売の物流センター又は店舗)をあらわす取引先ID。 小売商が発注者。 卸メーカで社内種別を作成。 S29ラベル印字に使用する。	○	ヘッダ	0	1	"0" 固定		
56	最終取引先ID	任意	文字	MAX20	可変	0	「最終取引先ID」の名称。卸メーカで社内種別を作成する際の名称表示に使用する。	○	伝票ヘッダー 取引先ID	"0.5" + "84-F"	MAX20			
57	最終取引先ID	任意	文字(半角)	MAX20	可変	0	「最終取引先ID」の名称(半角カナ)。卸メーカで社内種別を作成する際の名称表示に使用する。	○	伝票ヘッダー 取引先ID	"0.5" + "84-F"	MAX20			
58	最終取引先ID	必須	数字	MAX13	可変	0	最終取引先IDを指定する場所(小売の物流センター又は店舗)をあらわす取引先ID。 小売商が発注者。 卸メーカで社内種別を作成。 S29ラベル印字に使用する。	○	伝票ヘッダー 取引先ID	000105	6	そのままセット	社入IDを設定	
59	最終取引先ID	必須	数字	MAX13	可変	0	最終取引先IDを指定する場所(小売の物流センター又は店舗)をあらわす取引先ID。 小売商が発注者。 卸メーカで社内種別を作成。 S29ラベル印字に使用する。	○	ヘッダ	0	1	"0" 固定		
60	最終取引先ID	任意	文字	MAX20	可変	0	「最終取引先ID」の名称。卸メーカで社内種別を作成する際の名称表示に使用する。	○	伝票ヘッダー 取引先ID	"0.5" + "84-F"	MAX20			
61	最終取引先ID	任意	文字(半角)	MAX20	可変	0	「最終取引先ID」の名称(半角カナ)。卸メーカで社内種別を作成する際の名称表示に使用する。	○	伝票ヘッダー 取引先ID	"0.5" + "84-F"	MAX20			
62	出荷種別	任意	英数	MAX4	可変	0	同一取引先ID内で、取引先IDを指定する必要がある場合に伝票番号を指定する。 (小売の物流センター)。	○	伝票ヘッダー 決定種別	1	1		1 卸付 2 倉庫	
63	出荷種別	任意	英数	MAX4	可変	0	同一取引先ID内で、取引先IDを指定する必要がある場合に伝票番号を指定する。 (小売の物流センター)。	×	ヘッダ					
64	出荷種別	任意	数字	MAX13	可変	0	最終取引先IDを指定する場所(小売の物流センター又は店舗)をあらわす取引先ID。 小売商が発注者。 卸メーカで社内種別を作成。 S29ラベル印字に使用する。	×	ヘッダ					
65	納品種別	任意	数字	2	固定	0	小売商が発注者に対して、最終納品先を指定する。センター納品の場合、宛先に伝票番号を指定する。	○	伝票ヘッダー 納品種別	00	2	種別区分を付与	0: 倉庫 1: 倉庫 2: 倉庫 3: 倉庫 4: 倉庫 5: 倉庫 6: 倉庫 7: 倉庫 8: 倉庫 9: 倉庫 10: 倉庫 11: 倉庫 12: 倉庫 13: 倉庫 14: 倉庫 15: 倉庫 16: 倉庫 17: 倉庫 18: 倉庫 19: 倉庫 20: 倉庫 21: 倉庫 22: 倉庫 23: 倉庫 24: 倉庫 25: 倉庫 26: 倉庫 27: 倉庫 28: 倉庫 29: 倉庫 30: 倉庫 31: 倉庫 32: 倉庫 33: 倉庫 34: 倉庫 35: 倉庫 36: 倉庫 37: 倉庫 38: 倉庫 39: 倉庫 40: 倉庫 41: 倉庫 42: 倉庫 43: 倉庫 44: 倉庫 45: 倉庫 46: 倉庫 47: 倉庫 48: 倉庫 49: 倉庫 50: 倉庫 51: 倉庫 52: 倉庫 53: 倉庫 54: 倉庫 55: 倉庫 56: 倉庫 57: 倉庫 58: 倉庫 59: 倉庫 60: 倉庫 61: 倉庫 62: 倉庫 63: 倉庫 64: 倉庫 65: 倉庫 66: 倉庫 67: 倉庫 68: 倉庫 69: 倉庫 70: 倉庫 71: 倉庫 72: 倉庫 73: 倉庫 74: 倉庫 75: 倉庫 76: 倉庫 77: 倉庫 78: 倉庫 79: 倉庫 80: 倉庫 81: 倉庫 82: 倉庫 83: 倉庫 84: 倉庫 85: 倉庫 86: 倉庫 87: 倉庫 88: 倉庫 89: 倉庫 90: 倉庫 91: 倉庫 92: 倉庫 93: 倉庫 94: 倉庫 95: 倉庫 96: 倉庫 97: 倉庫 98: 倉庫 99: 倉庫 100: 倉庫	

No	帳簿名	データ項目名	必須/任意	タイプ	桁数(文字数)	記号	項目内容	利用有無	現行の項目名	サンプル値	※使用桁数	項目活用方法の補足説明		
												登録の項目利用方法	移行の項目活用方法	
150		(※注)原価金額	必須	数字	MAX10	可変	1取引明細の商品の原価金額(原価×数量)、小数点以下は四捨五入。	○	伝票明細 原価金額	99000	MAX10	原価金額をセット	半角数値(全角表示不可)でセット (※注)原価額+(※注)数量(小数点以下四捨五入)	
151		(※注)原価率	必須	数字	MAX2	可変	1取引明細の商品の原価率(原価/数量)。	○	伝票明細 原価率	145	7.2	原価率をセット	半角数値(全角表示不可)でセット 内税、税込原価をセット、外税、税抜き原価をセット	
152		(※注)売価金額	任意	数字	MAX10	可変	1取引明細の商品の売価金額(売価×数量)。	○	伝票明細 売価金額	99000	MAX10	売価金額をセット	半角数値(全角表示不可)でセット (※注)売価額+(※注)数量(小数点以下四捨五入)	
153		(※注)売価率	任意	数字	MAX10	可変	1取引明細の商品の売価率(売価/数量)。	○	伝票明細 売価率	998	MAX7	売価率をセット	半角数値(全角表示不可)でセット 内税、税込原価をセット、外税、税抜き原価をセット	
154		(※注)税額	任意	数字	MAX10	可変	1取引明細の商品原価の消費税額。小数点以下は四捨五入。	○	-	4788	MAX8	税額をセット	内税、外税の場合に原価金額の消費税額をセット	
155		発注単位	必須	数字	MAX4	可変	発注に対する納品単位の略称。取引品番欄で予め取り決め、共有する。	○	伝票明細 入庫	10	MAX4	発注単位(入庫)をセット	00もしくは発注単位をセット	
156		発注単位コード	必須	数字	2	固定	発注商品の単位略称。(例: K g, c m, 個 等)	○	-	00	2	発注単位コードをセット	00もしくは発注単位コードをセット	
157		発注商品コード	任意	数字	2	固定	納品の業種別形態に基いた発注単位を設定している場合に限り、その略称を指定。バラ、ケース、ケース、この項目を使用する場合は「発注単位コード」は必ず「個」になる。この項目で部/メーカーに対し、納品宛先の指定をすることはしない。	×	-	-	-	-	空欄	
158		発注数量(バラ)	必須	数字	MAX1	可変	1取引明細(※注)単位での「商品」の「発注用」の小売単位の数量。いわゆる「個」。	○	伝票明細 数量	200	5.1	数量をセット	半角数値(全角表示不可)でセット	
159		発注数量(発注単位数)	必須	数字	MAX6	可変	発注単位換算した発注数量。発注数量×発注数量(発注単位数)÷発注数量(バラ)小数点以下は四捨五入。	○	伝票明細 口数	20	MAX6	ケース数(口数)をセット	半角数値(全角表示不可)でセット	
160		取引単位重量	任意	数字	MAX7.3	可変	明細中事務で取引される単位重量(0kg: 10kgなど)	×	-	-	-	-	空欄	
161		原価取得単位	任意	数字	2	固定	不定量の場合の原価取得の単位を表す。10g, 50gなど、1kg, 10kgなど。	×	-	-	-	-	空欄	
162		商品重量	任意	数字	MAX5.3	可変	商品コードアイテム重量。発注数量(バラ)1個当たりの重量を表す。	×	-	-	-	-	空欄	
163		発注重量	任意	数字	MAX7.3	可変	不定量商品の場合に使用する。発注時の総重量。	×	-	-	-	-	空欄	

No	種別名	データ項目名	必須/任意	タイプ	桁数(文字数)	桁フラグ	項目内容	利用有無	現行の項目名	サンプル値	※取組桁数	項目活用方法の補足説明		
												新規の項目利用方法	現行の項目利用方法	
70	指定銘柄別	任意	桁別	8	固定		詳細のみを表す	x	-	-	-	-	-	
71	機種手段	任意	数字	3	固定			x	-	-	-	-	-	
72	バーコード種別	任意	数字	MAX13	可変			x	-	-	-	-	-	
73	カナゾリー名称1(印字用)	任意	文字	MAX5	可変			x	-	-	-	-	-	
74	カナゾリー名称2(印字用)	任意	文字	MAX5	可変			x	-	-	-	-	-	
75	最終納品先銘柄(印字用)	任意	文字	MAX5	可変			x	-	-	-	-	-	
76	ラベル印刷用銘柄(印字用)	任意	文字	MAX50	可変			x	-	-	-	-	-	
77	ラベル印刷用銘柄カナカナ(印字用)	任意	文字(半角カナ)	MAX50	可変			x	-	-	-	-	-	
78	入荷管理用バーコード	任意	数字	MAX13	可変		受注者が自社で管理している3桁3桁、同一メーカーでも配送先が異なることから、入荷時に3桁4桁する必要がある場合に使用。	x	-	-	-	-	-	
79	センター納品番番号	任意	数字	MAX10	可変		小売のワナに納品する際に納品者が使用する納品番の番号。	x	-	-	-	-	-	
80	商品分類(大)	必須	英数	MAX10	可変		小売側の商品分類を基準する商品コード。コード体系は小売が決定。(DP、クラス、グループ、カナゾリー、ライン、群集 など)	x	-	9999	-	4	分類コードをセット	他業ヘッダの分類コード ドンキ、長崎屋受注データ：部門コード(4桁)
81	商品分類(中)	必須	英数	MAX10	可変		小売側の商品分類を基準する商品コード。コード体系は小売が決定。(DP、クラス、グループ、カナゾリー、ライン、群集 など)	x	-	1	1	1	最終区分をセット	0: 仕入商品区分 1: 経営区分
82	発注日	必須	日付	10	固定		当該取引における、小売側の発注日(商品、品名、数量は、数量はに日に確定する。)	x	-	2015-01-20	-	10	発注日をセット	1: 経営区分
83	直接納品先納品日	任意	日付	10	固定		「直接納品先」または「最終納品先」への納品日。	x	-	2015-01-20	-	10	直接納品先納品日をセット	1: 経営区分
84	最終納品先納品日	必須	日付	10	固定		「最終納品先」または「最終納品先」への納品日。	x	-	2015-01-20	-	10	最終納品先納品日をセット	1: 経営区分
85	訂正後最終納品先納品日	任意	日付	10	固定		受注者が、「直接納品先」「最終納品先」への納品日を訂正する場合、訂正後の納品日を示す。	x	-	2015-01-20	-	10	納品日訂正がある場合のみ設定 訂正後最終納品先納品日(半角カナ)をセット	1: 経営区分
86	訂正後最終納品先納品日	任意	日付	10	固定		受注者が、「直接納品先」「最終納品先」への納品日を訂正した場合、それに伴う「最終納品先」「最終納品先」への訂正後納品日を小売側が変更し「訂正後」に設定。	x	-	2015-01-20	-	10	訂正後最終納品先納品日をセット	1: 経営区分
87	計上日	必須	日付	10	固定		小売側の仕入計上日。商品の場合は商品計上日。当該取引の発注日または納品日をもって発注。	x	-	2015-01-20	-	10	社上日をセット	1: 経営区分
88	販売店種別	任意	日付	10	固定		小売店種別の販売(半角カナ)種別。特売商品の在庫管理のために出荷者が商品別に種別(5桁)を割り振る。	x	-	-	-	-	-	-
89	販売店種別	任意	日付	10	固定		小売店種別の販売(半角カナ)種別。特売商品の在庫管理のために出荷者が商品別に種別(5桁)を割り振る。	x	-	-	-	-	-	-
90	販売店種別	任意	数字	2	固定		受注者が「(半角カナ)販売店種別(半角カナ)種別」を割り振る。	x	-	-	-	-	-	-
91	発注区分	任意	数字	2	固定		発注が行われた場所(本部・店舗)や、発注の形態(客注など)を表す区分。内容はコードリストを参照。	x	-	01	-	-	-	-
92	出荷データ種別区分	任意	数字	2	固定		小売側が、卸メーカーの出荷データ作成の要否を指定する項目。	x	-	-	-	-	-	-
93	POS区分	任意	数字	2	固定		小売側のコンピュータ発注に適用した出荷データ種別。卸メーカーが設定。	x	-	-	-	-	-	-
94	POS区分	任意	数字	2	固定		特売商品の、小売側が販売した特売商品(プライベートブランド商品)か、メッシュブランド商品かを判定する区分。	x	-	-	-	-	-	-
95	配達遅延区分	任意	数字	2	固定		温度により特別な処理を行う場合に発注する区分。配達遅延等発生時、手前、小売の発注管理で発生する。	x	-	-	-	-	-	-
96	納品区分	任意	数字	2	固定		当該納品商品が納品であるかどうかを判別する区分。卸メーカーでセンターの在庫管理を特定する際に使用する。	x	-	-	-	-	-	-
97	納品種別	任意	数字	2	固定		小売で使用する取引の種別(法人、法人、種別、種別)。業種コード、もしくは小売側商品コードをセットする。小売、卸側のメニュー取引の種別には「メッシュ種別」を使用し、納品種別の内容で納品種別を決定することが可能。	x	-	01	-	2	納品区分をセット	01: 本部発注、02: 店舗発注をセット 03: 本部発注、04: 本部(計)発注 05: 本部発注、06: 本部(計)発注 07: 本部発注、08: 本部(計)発注 09: 本部発注、10: 本部(計)発注 11: 本部発注、12: 本部(計)発注 13: 本部発注、14: 本部(計)発注 15: 本部発注、16: 本部(計)発注 17: 本部発注、18: 本部(計)発注 19: 本部発注、20: 本部(計)発注 21: 本部発注、22: 本部(計)発注 23: 本部発注、24: 本部(計)発注 25: 本部発注、26: 本部(計)発注 27: 本部発注、28: 本部(計)発注 29: 本部発注、30: 本部(計)発注 31: 本部発注、32: 本部(計)発注 33: 本部発注、34: 本部(計)発注 35: 本部発注、36: 本部(計)発注 37: 本部発注、38: 本部(計)発注 39: 本部発注、40: 本部(計)発注 41: 本部発注、42: 本部(計)発注 43: 本部発注、44: 本部(計)発注 45: 本部発注、46: 本部(計)発注 47: 本部発注、48: 本部(計)発注 49: 本部発注、50: 本部(計)発注 51: 本部発注、52: 本部(計)発注 53: 本部発注、54: 本部(計)発注 55: 本部発注、56: 本部(計)発注 57: 本部発注、58: 本部(計)発注 59: 本部発注、60: 本部(計)発注 61: 本部発注、62: 本部(計)発注 63: 本部発注、64: 本部(計)発注 65: 本部発注、66: 本部(計)発注 67: 本部発注、68: 本部(計)発注 69: 本部発注、70: 本部(計)発注 71: 本部発注、72: 本部(計)発注 73: 本部発注、74: 本部(計)発注 75: 本部発注、76: 本部(計)発注 77: 本部発注、78: 本部(計)発注 79: 本部発注、80: 本部(計)発注 81: 本部発注、82: 本部(計)発注 83: 本部発注、84: 本部(計)発注 85: 本部発注、86: 本部(計)発注 87: 本部発注、88: 本部(計)発注 89: 本部発注、90: 本部(計)発注 91: 本部発注、92: 本部(計)発注 93: 本部発注、94: 本部(計)発注 95: 本部発注、96: 本部(計)発注 97: 本部発注、98: 本部(計)発注 99: 本部発注、100: 本部(計)発注
98	納品種別	任意	数字	2	固定		小売で使用する取引の種別(法人、法人、種別、種別)。業種コード、もしくは小売側商品コードをセットする。小売、卸側のメニュー取引の種別には「メッシュ種別」を使用し、納品種別の内容で納品種別を決定することが可能。	x	-	02	-	2	0: F&M発注の場合、01: F&M発注の場合、21: 本部(計)発注	01: F&M発注の場合、02: F&M発注の場合、03: F&M発注の場合、04: F&M発注の場合、05: F&M発注の場合、06: F&M発注の場合、07: F&M発注の場合、08: F&M発注の場合、09: F&M発注の場合、10: F&M発注の場合、11: F&M発注の場合、12: F&M発注の場合、13: F&M発注の場合、14: F&M発注の場合、15: F&M発注の場合、16: F&M発注の場合、17: F&M発注の場合、18: F&M発注の場合、19: F&M発注の場合、20: F&M発注の場合、21: F&M発注の場合、22: F&M発注の場合、23: F&M発注の場合、24: F&M発注の場合、25: F&M発注の場合、26: F&M発注の場合、27: F&M発注の場合、28: F&M発注の場合、29: F&M発注の場合、30: F&M発注の場合、31: F&M発注の場合、32: F&M発注の場合、33: F&M発注の場合、34: F&M発注の場合、35: F&M発注の場合、36: F&M発注の場合、37: F&M発注の場合、38: F&M発注の場合、39: F&M発注の場合、40: F&M発注の場合、41: F&M発注の場合、42: F&M発注の場合、43: F&M発注の場合、44: F&M発注の場合、45: F&M発注の場合、46: F&M発注の場合、47: F&M発注の場合、48: F&M発注の場合、49: F&M発注の場合、50: F&M発注の場合、51: F&M発注の場合、52: F&M発注の場合、53: F&M発注の場合、54: F&M発注の場合、55: F&M発注の場合、56: F&M発注の場合、57: F&M発注の場合、58: F&M発注の場合、59: F&M発注の場合、60: F&M発注の場合、61: F&M発注の場合、62: F&M発注の場合、63: F&M発注の場合、64: F&M発注の場合、65: F&M発注の場合、66: F&M発注の場合、67: F&M発注の場合、68: F&M発注の場合、69: F&M発注の場合、70: F&M発注の場合、71: F&M発注の場合、72: F&M発注の場合、73: F&M発注の場合、74: F&M発注の場合、75: F&M発注の場合、76: F&M発注の場合、77: F&M発注の場合、78: F&M発注の場合、79: F&M発注の場合、80: F&M発注の場合、81: F&M発注の場合、82: F&M発注の場合、83: F&M発注の場合、84: F&M発注の場合、85: F&M発注の場合、86: F&M発注の場合、87: F&M発注の場合、88: F&M発注の場合、89: F&M発注の場合、90: F&M発注の場合、91: F&M発注の場合、92: F&M発注の場合、93: F&M発注の場合、94: F&M発注の場合、95: F&M発注の場合、96: F&M発注の場合、97: F&M発注の場合、98: F&M発注の場合、99: F&M発注の場合、100: F&M発注の場合
99	納品種別	任意	数字	2	固定		小売で使用する取引の種別(法人、法人、種別、種別)。業種コード、もしくは小売側商品コードをセットする。小売、卸側のメニュー取引の種別には「メッシュ種別」を使用し、納品種別の内容で納品種別を決定することが可能。	x	-	03	-	2	0: F&M発注の場合、01: F&M発注の場合、21: 本部(計)発注	01: F&M発注の場合、02: F&M発注の場合、03: F&M発注の場合、04: F&M発注の場合、05: F&M発注の場合、06: F&M発注の場合、07: F&M発注の場合、08: F&M発注の場合、09: F&M発注の場合、10: F&M発注の場合、11: F&M発注の場合、12: F&M発注の場合、13: F&M発注の場合、14: F&M発注の場合、15: F&M発注の場合、16: F&M発注の場合、17: F&M発注の場合、18: F&M発注の場合、19: F&M発注の場合、20: F&M発注の場合、21: F&M発注の場合、22: F&M発注の場合、23: F&M発注の場合、24: F&M発注の場合、25: F&M発注の場合、26: F&M発注の場合、27: F&M発注の場合、28: F&M発注の場合、29: F&M発注の場合、30: F&M発注の場合、31: F&M発注の場合、32: F&M発注の場合、33: F&M発注の場合、34: F&M発注の場合、35: F&M発注の場合、36: F&M発注の場合、37: F&M発注の場合、38: F&M発注の場合、39: F&M発注の場合、40: F&M発注の場合、41: F&M発注の場合、42: F&M発注の場合、43: F&M発注の場合、44: F&M発注の場合、45: F&M発注の場合、46: F&M発注の場合、47: F&M発注の場合、48: F&M発注の場合、49: F&M発注の場合、50: F&M発注の場合、51: F&M発注の場合、52: F&M発注の場合、53: F&M発注の場合、54: F&M発注の場合、55: F&M発注の場合、56: F&M発注の場合、57: F&M発注の場合、58: F&M発注の場合、59: F&M発注の場合、60: F&M発注の場合、61: F&M発注の場合、62: F&M発注の場合、63: F&M発注の場合、64: F&M発注の場合、65: F&M発注の場合、66: F&M発注の場合、67: F&M発注の場合、68: F&M発注の場合、69: F&M発注の場合、70: F&M発注の場合、71: F&M発注の場合、72: F&M発注の場合、73: F&M発注の場合、74: F&M発注の場合、75: F&M発注の場合、76: F&M発注の場合、77: F&M発注の場合、78: F&M発注の場合、79: F&M発注の場合、80: F&M発注の場合、81: F&M発注の場合、82: F&M発注の場合、83: F&M発注の場合、84: F&M発注の場合、85: F&M発注の場合、86: F&M発注の場合、87: F&M発注の場合、88: F&M発注の場合、89: F&M発注の場合、90: F&M発注の場合、91: F&M発注の場合、92: F&M発注の場合、93: F&M発注の場合、94: F&M発注の場合、95: F&M発注の場合、96: F&M発注の場合、97: F&M発注の場合、98: F&M発注の場合、99: F&M発注の場合、100: F&M発注の場合
100	バック区分	任意	数字	2	固定		後方の加工センター等に発注する場合のデータ判別を行う区分。0: バック。	x	-	-	-	-	-	-
101	不定買区分	任意	数字	2	固定		不定買区分を指定する区分。	x	-	-	-	-	-	-
102	税区分	任意	数字	2	固定		消費税の区分(込み、抜き、非課税)を表す区分。非課税: 切手、ビール券等	x	-	05	-	2	税区分をセット	1: 外税、05: 標準外税標準税率 2: 内税、01: 標準内税 3: 非課税
103	税率	任意	数字	MAX2.1	可変		消費税率を表す。	x	-	8	MAX2.1	-	-	-
104	自由発注種別	任意	文字	MAX50	可変		商品に表記する配達業者、配達日、発注日、種別を指定する項目。別項目でメッセージとして使用。	x	-	自由記号	MAX50	-	-	-
105	自由発注種別カナ	任意	文字(半角カナ)	MAX50	可変		商品に表記する配達業者、配達日、発注日、種別を指定する項目。(半角カナ)別項目でメッセージとして使用。	x	-	00001	5	自由記号	-	-
106	(実)原価集計合計	必須	数字	MAX10	可変		1取引番号(発注・商品)単位の原価集計の合計。1取引明細の「原価集計」の足し上げ	x	-	20000 200000	MAX10	-	-	-
107	(実)売価集計合計	任意	数字	MAX10	可変		1取引番号(発注・商品)単位の売価集計の合計。1取引明細の「売価集計」の足し上げ	x	-	200	MAX10	-	-	-
108	(実)税割集計合計	任意	数字	MAX10	可変		1取引番号(発注・商品)の消費税割集計の合計。「税割」の足し上げ	x	-	00	MAX10	-	-	-
109	数量合計	必須	数字	MAX14	可変		1取引番号(発注)単位の「数量合計(半角)」の合計。	x	-	00	MAX10	-	-	-
110	発注数量合計	任意	数字	MAX6	可変		1取引番号(発注)単位の「発注数量(発注数量)」の合計。	x	-	-	-	-	-	-
111	重量合計	任意	数字	MAX13.3	可変		不定買商品の場合に使用する。1取引番号(発注)単位の重量の合計。	x	-	-	-	-	-	-
112	取引明細番号(発注・商品)	必須	英数	MAX4	可変		「取引明細番号(発注・商品)」の中の商品単位の明細番号。	x	-	02	-	2	取引明細番号をセット	-
113	取引先明細番号	任意	英数	MAX4	可変		「取引先明細番号」の中の商品単位の明細番号。商品は伝送の行動	x	-	-	-	-	-	-
114	発注引継番号	任意	英数	MAX10	可変		取引番号が通知・変更になった場合の発注引継番号	x	-	-	-	-	-	-
115	発注引継番号	任意	英数	MAX4	可変		取引番号が通知・変更になった場合の発注引継番号	x	-	-	-	-	-	-
116	発注引継番号	任意	英数	MAX4	可変		取引番号が通知・変更になった場合の発注引継番号	x	-	-	-	-	-	-
117	商品分類(小)	任意	英数	MAX10	可変		小売側の商品分類を基準する商品コード。コード体系は小売が決定。(DP、クラス、グループ、カナゾリー、ライン、群集 など)	x	-	999999	MAX6	-	-	-
118	商品分類(細)	任意	英数	MAX10	可変		小売側の商品分類を基準する商品コード。コード体系は小売が決定。(DP、クラス、グループ、カナゾリー、ライン、群集 など)	x	-	0	-	1	種別区分	0: 本部 1: 本部 2: センター 3: 店舗 4: 発注引継 5: 発注引継
119	配達予定日	任意	日付	10	固定		配達必要商品の管理上、配達予定日を商品ごとに表記してもらう必要がある場合、その日付。	x	-	-	-	-	-	-
120	納品種別	任意	英数	MAX3	可変		「最終納品先」への納品種別。製品の目付と紐付けして、入荷を判別する目付。7桁以内	x	-	-	-	-	-	-
121	センター納品詳細指示	任意	数字	2	固定		納品詳細を詳細に指示する場合、センターでの仕分けに必要な項目を通知。	x	-	-	-	-	-	-
122	メーカーコード	任意	数字	MAX13	可変		JANメーカーコード。小売側が、メーカー別納品実績を把握する場合(レポート管理等)に使用。	x	-	-	-	-	-	-
123	商品コード(元)	必須	数字	MAX14	可変		発注番号が通知・変更になった場合の発注引継番号	x	-	0000000000000000	14	0000000000000000	固定	-
124	商品コード(発注用)	必須	数字	MAX14	可変		小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。	x	-	4901331016424	13	3桁以内	可変	全角(全角発注不可)でセット
125	商品コード(発注)	必須	数字	3	固定		商品コード(発注用)のコード種別を特約する際に使用する。	x	-	9999	3	9999	固定	-
126	商品コード(取引先)	任意	文字(半角カナ)	MAX14	可変		商品コード(発注用)に対する商品名。商品コードは14桁以内。使用する場合は、卸/3桁が設定された商品コードを入力する。	x	-	1234567890123	13	13桁以内	可変	全角(全角発注不可)でセット
127	商品名	任意	文字	MAX25	可変		「商品コード(発注用)」に対する商品名。卸/メーカーで社内標準を作成する際の名義名称に使用する。漢字・カタカナ・数字・記号を組み合わせる。	x	-	サンフランシスコ 4 6 0 グラム	MAX25	-	-	-
128	商品名カナ	任意	文字(半角カナ)	MAX25	可変		「商品コード(発注用)」に対する商品名(半角カナ)。卸/メーカーで、社内標準を作成する必要がある場合、あるいは社内標準を作成する場合に使用する。	x	-	ワ 4842-2 450g	MAX25	-	-	-
129	商品コード(出荷先)	任意	数字	MAX14	可変		商品コード(発注用)に対する商品名。商品コードは14桁以内。使用する場合は、卸/3桁が設定された商品コードを入力する。	x	-	-	-	-	-	-
130	規格	任意	文字	MAX25	可変		商品の規格(内容量、重量、等)をあらわす。漢字・カタカナ・数字・記号を組み合わせる。	x	-	ワ 4848	MAX20	-	-	-
131	規格カナ	任意	文字(半角カナ)	MAX25	可変		商品の規格(内容量、重量、等)をあらわす。漢字・カタカナ・数字・記号を組み合わせる。	x	-	ワ 4848	MAX20	-	-	-
132	カラーコード	任意	英数	MAX10	可変		商品の色を表す3桁。3桁体系は標準規格で決定。標準3桁使用を今後検討	x	-	-</				

No	商品名	データ項目名	必須/任意	タイプ	桁数(文字数)	桁フラグ	項目内容	利用有無	現行の項目名	サンプル値	※説明桁数	項目活用方法の補足説明		
												新規の項目利用方法	現行の項目活用方法	
148		商品P/R	任意	文字	MAX10	可変	届取り、集付き、エ付き、振付きなど商品に関するこだわりや商品P/R、商品特性、おすめ情報を表す。	x	-	-	-	-	-	-
149		バイオ区分	任意	数字	2	固定	商品取替時のバイオ技術の適用・非適用(通信子種み換え)	x	-	-	-	-	-	-
150		品種コード	任意	数字	2	固定	商品の品種を表すコード	x	-	-	-	-	-	-
151		養種区分	任意	数字	2	固定	養種/次種を表す区分	x	-	-	-	-	-	-
152		種区分	任意	数字	2	固定	標準生産区分、当該販売時の状態を表す。	x	-	-	-	-	-	-
153		商品状態区分	任意	数字	3	固定	商品の種別状態を表す区分	x	-	-	-	-	-	-
154		形状・部位	任意	文字	MAX5	可変	商品の形状や部位を表す区分(1次加工)	x	-	-	-	-	-	-
155		用途	任意	文字	MAX20	可変	注食用・加糖用といった商品の使用用途を表す。	x	-	-	-	-	-	-
156		法定管理農産物区分	任意	数字	2	固定	当該商品が、法定管理の必要な項目かどうか、またその種類を表す区分。	x	-	-	-	-	-	-
157		(実価)原価金額	必須	数字	MAX10	可変	1取引明細の商品の原価金額(「原価率」×「実注数量(バラ)」)。小数以下のまゝの方法は当事者間で決定(四捨五入、切り捨て、切り上げ)	○	-	25000 100000	MAX10	原価金額をセット ※出荷、訂正後原価率が設定されている場合、再計算により、実注の値と異なる値となる	平均数値(全角表示不明)でセット (実注)原価率(実価)数量(小数点以下切り捨て)	
158		(実価)原価率	必須	数字	MAX2	可変	1取引明細の商品の原価率。	○	-	15.00 (100.00)	7.2	原価率をセット ※出荷、訂正後原価率が設定されている場合、別項目に連携	平均数値(全角表示不明)でセット 内税、税込原価率をセット、内税：税抜き単価をセット	
159		(実価)売価金額	任意	数字	MAX10	可変	1取引明細の商品の売価金額(「売価率」×「実注数量(バラ)」)。	○	-	35000	MAX10	売価金額をセット	平均数値(全角表示不明)でセット (実注)売価率(実価)数量(小数点以下切り捨て)	
160		(実価)売価率	任意	数字	MAX10	可変	1取引明細の商品の売価率。	○	-	200	MAX7	売価率をセット	平均数値(全角表示不明)でセット 内税、税込原価率をセット、内税：税抜き単価をセット	
161		(実価)原価	任意	数字	MAX10	可変	1取引明細の「原価金額」の消費税額。	○	-	80	MAX10	税額をセット	内税、内税の場合に原価金額の消費税額をセット	
162		実注単位	必須	数字	MAX4	可変	実注に対する納品単位の数量。取引当事者間で予め取り決め、共有する。	○	-	10	MAX4	実注単位(人数)をセット	100もしくは実注単位をセット	
163		実注単位コード	必須	数字	2	固定	実注商品の単位呼称。(例：Kg、cm、箱、箱)	○	-	00	2	実注単位コードをセット	100もしくは実注単位コードをセット	
164		実注単位コード	任意	数字	2	固定	納品の実価計算部等にぞつた実注単位を設定している場合に限り、その前座を明記。バラ、派一ル、ケース。この座番を使用する場合は「実注単位コード」は必ず「00」になる。この項目で部/メーカーに対し、納品前座の指定をすることはしない。	x	-	-	-	-	-	-
165		実注数量(バラ)	必須	数字	MAX6.1	可変	1取引明細(実注)単位での51「商品3+1(実注用)」の小売側の実注数。いわゆるバラ数。	○	-	200.0	5.1	数量をセット	平均数値(全角表示不明)でセット	
166		実注数量(実注単位数)	必須	数字	MAX6	可変	実注単位数とした実注数量。実注数量×実注数量(実注単位数)=実注数量(バラ)小数点以下は切り捨て	○	-	20	MAX6	ケース数(箱数)をセット	平均数値(全角表示不明)でセット	
167		出荷数量(バラ)	必須	数字	MAX6.1	可変	1取引明細(実注)単位の商品出荷バラ数。出荷時に部/メーカー側がセット	○	-	200.0	5	出荷数量をセット	パートナーにてセット。 平均数値(全角表示不明)でセット ※小数点以下は実注単位	
168		出荷数量(実注単位数)	任意	数字	MAX6	可変	1取引明細(実注)単位の商品出荷の実注単位数量。出荷時に部/メーカー側がセット	○	-	20	MAX6	ケース数(箱数)をセット	平均数値(全角表示不明)でセット	
169		実価数量(バラ)	必須	数字	MAX6.1	可変	1取引明細(実注)単位の小売側の商品実価数。N×数量換算。(実注数量の出荷数との差異の有無にかかわらずあり)	○	-	10.0	5.1	商品が納品された数量をセット	平均数値(全角表示不明)でセット	
170		実価数量(実注単位数)	任意	数字	MAX6	可変	1取引明細(実注)単位の小売側の商品実価数。実注単位換算。(実注数量の出荷数との差異の有無にかかわらずあり)	○	-	20	MAX6	実注数/人数をセット	合算が発生する場合は、小数点以下を切り捨ててセット 平均数値(全角表示不明)でセット	
171		訂正区分	任意	数字	2	固定	小売での発注時に出荷データと実納品との間に発生した場合は、小売側が発注データにセットする値を理由。	x	-	-	-	-	-	-
172		取引単位重量	任意	数字	MAX7.3	可変	卸売市場等で取引される単位重量(5Kg、10kgなど)	x	-	-	-	-	-	-
173		標準登録単位	任意	数字	2	固定	不定量の場合の標準登録の単位を表す。100g当たり、1kg当たりなど。	x	-	-	-	-	-	-
174		納品重量	任意	数字	MAX3	可変	商品コード/アライメント重量。実注数量(バラ)1個当たりの重量を表す。	x	-	-	-	-	-	-
175		実注重量	任意	数字	MAX7.3	可変	不定量商品の場合に使用する。実注側の標準重量	x	-	-	-	-	-	-
176		出荷重量	任意	数字	MAX7.3	可変	不定量商品の場合に使用する。出荷側(納品時)の標準重量	x	-	-	-	-	-	-
177		実価重量	任意	数字	MAX7.3	可変	不定量商品の場合に使用する。発注側の標準重量	x	-	-	-	-	-	-

No	種別名	データ項目名	必須 / 任意	タイプ	桁数 (文字数)	制フラグ	項目内容	利用有無	現行の項目名	サンプル値	※ 注記	項目活用方法の補足説明
66		発注区分	任意	数字	2	固定	発注が行われた場所 (本部・店舗) や、発注の形態 (寄注など) を表示する。内容はコードリストを参照。	○		01	2	新規の項目利用方法 現行の項目利用方法 「01」(本部発注)、「02」(店舗発注)をセット予定。 ※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
67		出荷データ有無区分	任意	数字	2	固定	小売側が、卸/メーカーの出荷データ作成の要不要を指定する項目。	×				
68		EOS区分	任意	数字	2	固定	小売からのコンピュータ発注に基づいた、出荷データなのかを判別する項目。卸/メーカーがセット。	○		02	2	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
69		内区分	任意	数字	2	固定	当該商品が、小売側が販売した独自商品 (プライベートブランド商品) か、ナショナルブランド商品かを表す区分。	×				
70		配達温度区分	任意	数字	2	固定	温度により特別な処理を行う場合に告知する項目。配達温度帯指定、季節、小売の保管環境で変化する。	×				
71		凍区分	任意	数字	2	固定	当該発注商品が凍であるかどうか判別する区分。卸/メーカーでセンターの在庫ロケーションを特定する際に使用する。	×				
72		処理種別	任意	数字	2	固定	小売で使用する取引の種類 (仕入、返品、移動、値引等)。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でメッセージ取引の識別には「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で詳細に情報を伝えることと併用しようとする。	○		01	2	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
73		伝票しるし区分	任意	数字	2	固定	小売が卸/メーカーにペーパー伝票作成の要・不要を告知する区分。	×				
74		配送形態区分	任意	数字	2	固定	商品別の配送形態の属性を通知する区分。	○				
75		取引条件区分	任意	数字	2	固定	取引タイプと発注条件を表す区分。	○		02	2	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
76		パッケージ区分	任意	数字	3	固定	発注商品のセンター単位に属する商品のデータ形態を行う区分。01: パッケージ	×				
77		決定区分	任意	数字	3	固定	変更・不変更を表す区分。	×				
78		税区分	任意	数字	2	固定	消費税の区分 (込み、抜き、非課税) を表示する。非課税: 切手、ビール券等	○		05	2	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
79		税率	任意	数字	MAX2.1	可変	消費税率を表す。	○		8	MAX2.1	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
80		自由使用欄	任意	文字	MAX30	可変	伝票に記載する配達番号、配達日、発出日など、相手先に伝達したい項目。別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可。	○		自由記記載	MAX30	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
81		自由使用欄前半カナ	任意	文字 (半角カナ)	MAX30	可変	伝票に記載する配達番号、配達日、発出日など、相手先に伝達したい項目。(半角カナ) 別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可。	○		00001	5	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
82		(発注)原価金額合計	必須	数字	MAX10	可変	1取引番号 (発注・返品) 単位の原価金額の合計。1取引明細の「原価金額」の足し上げ	○		20000 (20000)	MAX10	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
83		(発注)売価金額合計	任意	数字	MAX10	可変	1取引番号 (発注・返品) 単位の売価金額の合計。1取引明細の「売価金額」の足し上げ	○		200	MAX10	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
84		(発注)税額合計金額	任意	数字	MAX10	可変	1取引番号 (発注・返品) 単位の消費税の合計。「税額」の足し上げ	○		80	MAX10	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
85		税金	必須	数字	MAX6	可変	1取引番号 (発注・返品) 単位の「発注数量(バラ)」の合計。	○		80	MAX6	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
86		発注数量合計	任意	数字	MAX6	可変	1取引番号 (発注・返品) 単位の「発注数量(発注単位)」の合計。	×				
87		重量合計	任意	数字	MAX10.3	可変	不定量商品の場合に使用する。1取引番号 (発注) 単位の重量の合計。	×				
88		取引明細番号 (発注・返品)	必須	英数	MAX4	可変	「取引番号 (発注・返品)」の中の商品単位の明細番号。	○		02	2	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
89		取引付属明細番号	任意	英数	MAX4	可変	「取引付属番号」の中の商品単位の明細番号。返品は元帳の付属	×				
90		元取引番号	任意	英数	MAX10	可変	取引番号が追加・変更になった場合の元の取引番号。	×				
91		元取引明細番号	任意	英数	MAX4	可変	取引番号が追加・変更になった場合の元の取引明細番号。	×				
92		出荷管理明細番号	任意	英数	MAX4	可変	発注に別出し、出荷管理で管理する商品の明細番号。	×				
93		商品分類 (9)	任意	英数	MAX10	可変	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群等) など。	○		999999	6	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
94		商品分類 (細)	任意	英数	MAX10	可変	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群等) など。	○		0	1	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
95		返品・値引き理由コード	必須	数字	3	固定	返品、値引きの理由	○		"100"	3	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
96		メーカーコード	任意	数字	MAX13	可変	JANメーカーコード。小売側が、メーカー別納品業務を把握する場合 (リベート管理等) に使用。	×				
97		商品コード (G1IN)	必須	数字	MAX14	可変	共通商品コード。現状はEAN UPCを使用 (半角カナ)。G1INによる商品別別を行う場合、消費税率入庫日の付加をセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」設定	○		0000000000000000	14	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
98		商品コード (発注用)	必須	数字	MAX14	可変	小売側で使用する発注用コード。ここにセットされたコードで商品が特定される。	○		496131918424	13	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
99		商品コード (区分)	必須	数字	3	固定	1商品コード (発注用) のコード種別を区分に使用	○		9999	3	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
100		商品コード (取引先)	任意	文字 (半角カナ)	MAX14	可変	卸/メーカーでの商品管理に使用している商品コード。7桁14桁商品など。使用する場合は、卸/メーカーが提供する商品コードを入力する	○		1234567890120	13	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
101		商品名	任意	文字	MAX25	可変	「商品コード (発注用)」に対する商品の名称。卸/メーカーで社内業務を作成する際の商品名称に使用する。構文作成、等に使用する。	○		サンプル名30文字450974M	MAX25	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
102		商品名カナ	任意	文字 (半角カナ)	MAX25	可変	「商品コード (発注用)」に対する名称 (半角カナ)。卸/メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あらかじめ仕入伝票を作成する際の商品名称に使用する。	○		サンプル名30文字450974M	MAX25	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
103		商品コード (H100)	任意	数字	MAX14	可変	システムメンテナンス用商品コード	×				
104		規格	任意	文字	MAX25	可変	商品の規格 (内容量、重量、等) をあらわす。構文作成、等に使用する。	○		サンプル名30	MAX20	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
105		規格カナ	任意	文字 (半角カナ)	MAX25	可変	商品の規格 (内容量、重量、等) をあらわす。構文作成、等に使用する。	○		サンプル名30	MAX20	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
106		カラーコード	任意	英数	MAX10	可変	商品の色を表すコード。2桁体系は当番番別で決定。構文コード使用を今後検討	×				
107		カラー名称	任意	文字	MAX20	可変	「カラーコード」に対する名称。構文作成、等に使用する。	×				
108		カラー名称カナ	任意	文字 (半角カナ)	MAX20	可変	「カラーコード」に対する名称 (半角カナ)。構文作成、等に使用する。	×				
109		サイズコード	任意	英数	MAX10	可変	商品のサイズを表すコード。3桁体系は当番番別で決定。構文コード使用を今後検討	○		0	1	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
110		サイズ名称	任意	文字	MAX30	可変	「サイズコード」に対する名称。構文作成、等に使用する。	○		サンプルメーカー	MAX30	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
111		サイズ名称カナ	任意	文字 (半角カナ)	MAX30	可変	「サイズコード」に対する名称 (半角カナ)。構文作成、等に使用する。	○		サンプルメーカー	MAX30	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
112		人数	任意	数字	MAX4	可変	出荷単位の前記に入っている数量、人数が可変でありセットできないような場合はセットしない。	○		1000	MAX4	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
113		都道府県コード	任意	数字	3	固定	産地指定して発注する場合の都道府県コード。または出荷時に確定した都道府県コード。	×				
114		産地コード	任意	数字	3	固定	産地指定して発注する場合の産地コード。または出荷時に確定した産地コード。	×				
115		産地名	任意	文字	MAX20	可変	産地指定して発注する場合の産地名。または出荷時に確定した産地名。	×				
116		水域コード	任意	英数	2	固定	産地指定して発注する場合の水域コード。または出荷時に確定した水域コード。	×				
117		水域名	任意	文字	MAX20	可変	産地指定して発注する場合の水域名。または出荷時に確定した水域名。	×				
118		産地エリア	任意	文字	MAX30	可変	商、産地指定のエリアを表す。卸/メーカー、その他一般に知られている地名 (「都道府県」/「カリフォルニア」など)。水産物の場合は、産地指定した水域名 (相模湾、西インド洋など)、水揚げ産地 (徳島湾、相模湾など) を表す。	×				
119		等級	任意	文字	MAX8	可変	商品のグレードを表す (A、B、C、劣、最、良など)	×				
120		等級	任意	文字	MAX8	可変	商品のサイズを表す (L、M、S、大、小、小など)	×				
121		銘柄	任意	文字	MAX30	可変	産地銘柄を表す	×				
122		商品P/R	任意	文字	MAX30	可変	卸/メーカー、運付、土付き、梱包など商品に関するこだわりや商品P/R、商品特性、おすすり情報を表す	×				
123		バイオ区分	任意	数字	2	固定	商品銘柄のバイオ技術の適用、非適用 (遺伝子組み換え)	×				
124		品種コード	任意	数字	2	固定	商品の品種を表すコード	×				
125		産地区分	任意	数字	2	固定	産地・天然を表す区分	×				
126		凍凍区分	任意	数字	2	固定	凍凍を表す区分。凍凍発時の状態を表す。	×				
127		商品状態区分	任意	数字	2	固定	商品の保存状態を表す区分	×				
128		形状・部位	任意	文字	MAX5	可変	商品の形状や部位を表す区分 (1次加工)	×				
129		用途	任意	文字	MAX20	可変	生食用・加熱用といった商品の使用用途を表す。	×				
130		法定管理職農林区分	任意	数字	2	固定	当該商品が、法定管理の必要な項目があるか、またその種類を表す区分。	×				
131		(発注)原価金額	必須	数字	MAX10	可変	1取引明細の商品の原価金額 (「原価単」×「発注数量(バラ)」)。小販以下のまらめは当番番別で決定 (四捨五入、切捨て、切り上げ)	○		20000 (10000)	MAX10	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
132		(発注)売価金額	必須	数字	MAX8.2	可変	1取引明細の商品の売価金額。	○		145.00 (100.00)	7.2	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
133		(発注)税額	任意	数字	MAX10	可変	1取引明細の商品の税額金額 (「税単」×「発注数量(バラ)」)。	○		50000	MAX10	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
134		(発注)売価単価	任意	数字	MAX10	可変	1取引明細の商品の売価単価。	○		200	MAX10	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
135		(発注)税額	任意	数字	MAX10	可変	1取引明細の「原価金額」の消費税額。	○		200	MAX10	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
136		発注数量(バラ)	必須	数字	MAX6.1	可変	1取引明細 (発注) 単位の小売側の発注数量。0: 数量計算。(発注側の出荷数との差算の有無にかかわらず)	○		10.0	6.1	※1: F A X発注の場合、F A X発注書に記載の欄をセットしてください。
137		原価単価	任意	数字	2	固定	不定量商品の原価単価の単位を表す。100: 当たり、1kg当たりなど。	×				
138		重量	任意	数字	MAX5.3	可変	商品コードアイテム重量。発注数量 (バラ) 1個当たりの重量を表す。	×				
139		訂正重量	任意	数字	MAX7.5	可変	不定量商品の場合に使用する。訂正後の重量を表す。	×				

資料名	データ種別	連携BMSスキーマバージョン
標準CSVマッピング資料	支払	V1.3

Ver.1.4

No	項目名	データ項目名	必須/任意	タイプ	桁数(文字数)	桁幅	項目内容	利用有無	実行の項目名	サンプル値	※使用桁数	項目活用方法の補足説明		
												設定例	備考	
8800														
1	ヘッダバージョン	必須	文字	4	0	0	S800バージョン	O		1.3	3	1.0	固定	
2	送書番号	必須	文字	13	0	0	送書番号10、取引先と相場のうえ、独自コードあるいは伝票を使って送書番号を決定し入力する。	O		489400025003	13	0	伝票コード	
3	送書番号区分	必須	文字	4	0	0	送書番号10の場合は、「CODE」、伝票の場合は「GLN」と入力	O		3	0	0	伝票コード	
4	受書番号	必須	文字	13	0	0	受書番号10、取引先と相場のうえ、独自コードあるいは伝票を使って送書番号を決定し入力する。	O		00010300	8	0	取引先コード(8桁) + 取引先区分コード(2桁)を設定	
5	受書番号区分	必須	文字	4	0	0	受書番号10の場合は、「CODE」、伝票の場合は「GLN」と入力	O		0	0	0	伝票コード	
6	受書番号	必須	文字	12	0	0	ドキュメント番号	O		SecondID01	12	0	SecondID01	
7	XMLメッセージバージョン	必須	文字	4	0	0	XMLのメッセージバージョンを入力	O		JP	2	0	1.0	
8	メッセージID	必須	文字	80	0	0	取引先メッセージIDの一意な識別子。自動生成された一意な識別子のコードIDを生成し入力する。	O		2007021213000	14	0	システム日付(YYYYMMDD) + システム時刻(MM) + システム時刻(SS)	
9	メッセージ種別	必須	文字	256	0	0	ビジネスメッセージの種類。メッセージのタイプと名称を入力する。	O		Payment	5	0	Payment	
10	メッセージID	任意	文字	13	0	0	メッセージ全体の作成日・時刻	X					システム日付(YYYYMMDD) + システム時刻(MM) + システム時刻(SS)	
11	データ作成日時	必須	日時	14	0	0	メッセージ全体の作成日・時刻	O		2007-11-24T12:00:00	14	0	システム日付(YYYYMMDD) + システム時刻(MM) + システム時刻(SS)	
12	テスト区分タイプ	任意	文字	13	0	0	テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場 合、テストのスキームを作成する。	O		Communication	13	0	テストの場合のみ使用	
13	テスト区分インスタンス識別子	任意	文字	4	0	0	テスト区分のスキームを作成する。	O		Test	4	0	テストの場合のみ使用	
14	テスト区分識別子	任意	文字	17	0	0	テスト区分のスキームを作成する。	O		Test	17	0	テストの場合のみ使用	
15	最終送書番号	任意	文字	13	0	0	最終送書番号を送す。最終送書番号を使用する場合は、最終送書番号のスキームを作成する。	X					送書	
16	最終送書番号	任意	文字	13	0	0	最終送書番号を送す。最終送書番号を使用する場合は、最終送書番号のスキームを作成する。	X					送書	
17	最終送書番号	任意	文字	13	0	0	最終送書番号を送す。最終送書番号を使用する場合は、最終送書番号のスキームを作成する。	X					送書	
メッセージ機能														
18	メッセージ識別ID	必須	文字	MAX80	0	0	メッセージ識別。S800のInstanceIdentifier入れた後の先頭に「MSG」を足す	O		MSG-2007021213000	18	0	MSG-インスタンスID	
19	送書ステーションアドレス	任意	英数	8	0	0	銀行ICP手順との併用期間中、宛先(ステーションアドレス)単位の送書件数の集計を行う場合に使用 する。	O		99999999	8	0	支払データフォーマット(CSV・伝票単位) / パートナーコード	
20	送書ステーションアドレス	任意	英数	8	0	0	銀行ICP手順との併用期間中、宛先(ステーションアドレス)単位の送書件数の集計を行う場合に使用 する。	O		99999999	8	0	支払データフォーマット(CSV・伝票単位) / パートナーコード	
21	直接送書ステーションアドレス	任意	英数	8	0	0	銀行ICP手順との併用期間中、宛先(ステーションアドレス)単位の送書件数の集計を行う場合に使用 する。	O		99999999	8	0	支払データフォーマット(CSV・伝票単位) / パートナーコード	
22	取引先番号	任意	数字	MAX7	0	0	このIDに含まれている取引先番号の種類、属性は伝票枚数になる。取引先ID単位の伝票枚数。	O		50	MAX7		伝票枚数をセット	
23	システム情報	任意	文字	13	0	0		X					送書	
24	システム情報	任意	文字	13	0	0		X					送書	
ファイル機能														
25	XML内容バージョン	任意	文字	MAX20	0	0	XMLのバージョン	O		1.0	0	3	1.0	
26	XML内容バージョン	任意	文字	MAX20	0	0	XMLのバージョン	O		1.0	0	3	1.0	
27	XML内容バージョン	任意	文字	MAX20	0	0	XMLのバージョン	O		1.0	0	3	1.0	
28	XML内容バージョン	任意	文字	MAX20	0	0	XMLのバージョン	O		1.0	0	3	1.0	
29	支払法人コード	必須	数字	MAX13	0	0	商品の支払を行う小売企業(会社)を表す独自コード。通常は「発注者コード」と同じ値が入るが、小 売側がグループ内に複数事業会社を持つ、又は法人と支払会社異なる場合には、それぞれ異なるGLNを使用 しコードが入る。	X					法人コードをセット	
30	支払法人ID	必須	数字	MAX13	0	0	商品の支払を行う小売企業を表す。通常は「発注者ID」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に 複数事業会社を持つ、又は法人と支払会社異なる場合には、それぞれ異なるGLNが入る。GLNを使用 しない場合は「0」固定。	O		0	0	1	0	
31	支払法人名称カナ	任意	文字(半角カナ)	MAX20	0	0	「支払法人コード」の名称(半角カナ)。	O		ドン・キホーテ			送書	
32	支払法人名称カナ	任意	文字(半角カナ)	MAX20	0	0	「支払法人コード」の名称(半角カナ)。	X					送書	
33	支払者コード	必須	数字	MAX13	0	0	商品の発注を行う小売企業を表す独自コード	O					法人コードをセット	
34	発注者ID	必須	数字	MAX13	0	0	商品の発注を行う小売企業を表す。伝票を使用しない場合は「0」固定。	O		0	0	1	0	
35	発注者名称	任意	文字	MAX20	0	0	「発注者コード」の名称。即/メーカーで社内構築を作成する際の名称表示に使用。	O					送書	
36	発注者名称カナ	任意	文字(半角カナ)	MAX20	0	0	「発注者コード」の名称(半角カナ)。即/メーカーで、社内構築を作成する必要がある場合、ある いは社内構築を作成する際の名称表示に使用。	X		ドン・キホーテ	MAX20			送書
伝票ヘッダ														
37	請求番号	任意	数字	MAX10	0	0	請求者(即/メーカー)が小売に行う請求の単位。番号体系は当事務間で任意に決定。	O					8	
38	請求取引先コード	必須	数字	MAX13	0	0	商品代金の請求支払いを行う即/メーカー企業を表す独自コード。事前取決め(契約)により小売側が 指定。ここにセットされた企業コードに対して請求支払い権限が行われる。通常は「取引先コード」と同 じ値をセットするが、即/メーカー間で、1企業で複数の取引先コードを使用し「取引先-納品」を行う ことがある場合、それぞれの請求支払いを1つの取引先コードで行うことに使用する。	O		9999999	6	0	支払データフォーマット(CSV・伝票単位) / パートナーコード	
39	請求取引先ID	必須	数字	MAX13	0	0	商品代金の請求支払いを行う即/メーカー企業を表す。事前取決め(契約)により即/メーカー側 で指定。ここにセットされた企業IDに対して請求支払い権限が行われる。通常は「取引先ID」と同じ値 をセットするが、即/メーカー間で、1企業で複数の取引先IDを使用し「取引先-納品」を行うこと がある場合、それぞれの請求支払いを1つの取引先IDで行うことに使用する。	O		0	1	0	0	
40	請求取引先名称	任意	文字(半角)	MAX20	0	0	「請求取引先コード」に対する名称(半角カナ)。即/メーカーで社内構築を作成する際の名称表示に使用 する。	X					送書	
41	請求取引先名称カナ	任意	文字(半角カナ)	MAX20	0	0	「請求取引先コード」に対する名称(半角カナ)。即/メーカーで社内構築を作成する際の名称表示に使用 する。	X					送書	
42	対象開始日	任意	日付	10	0	0	請求支払いの対象となる日付の開始日。	X					送書	
43	対象終了日	必須	日付	10	0	0	請求支払いの対象となる日付の終了日。納品日。	O		2015-01-20	10	0	0	
44	取引番号(発注・返品)	必須	数字	MAX10	0	0	小売側が即/メーカーに行う発注、返品の単位。伝票番号と一致しない	O		123456789	9	0	支払データフォーマット(CSV・伝票単位) / 伝票番号	
45	発行区分	任意	数字	MAX2	0	0	商品代金の請求を行う即/メーカー企業。自社の管理の送り(例:事業所別、地区別など)に 合わせて請求支払いをする場合に任意で使用する。請求データにセットされた値がそのまま請求データに引 き継がれる。	X					送書	
46	通書	任意	数字	MAX5	0	0	商品代金の請求を行う即/メーカー企業。自社の管理の送り(例:事業所別、地区別など)に 合わせて請求支払いをする場合に任意で使用する。請求データにセットされた値がそのまま請求データに引 き継がれる。	X					送書	
47	計上部署コード	必須	数字	MAX13	0	0	商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所(小売の物流センター、または店舗)を表す 独自コード「直接納品先コード」または「最終納品先コード」のいずれか。	O		00103	5	0	支払データフォーマット(CSV・伝票単位) / 店舗コード	
48	計上部署ID	必須	数字	MAX13	0	0	商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所(小売の物流センター、または店舗)を表す 独自ID。直接納品先IDまたは最終納品先IDのいずれか。GLNを使用しない場合は「0」固定	O		0	1	0	0	
49	計上部署名称	任意	文字	MAX20	0	0	「計上部署コード」の名称。	O					支払データフォーマット(CSV・伝票単位) / 店舗名称	
50	計上部署名称カナ	任意	文字(半角)	MAX20	0	0	「計上部署コード」の名称(半角カナ)。即/メーカーで社内構築を作成する際の名称表示に使用す る。	X					送書	
51	取引先コード	任意	文字(半角)	MAX13	0	0	発注者(即/メーカー)企業を表す独自コード。事前取決め(契約)により小売側が指定。 「取引先コード」に対する名称(半角カナ)。	O		9999999	6	0	支払データフォーマット(CSV・伝票単位) / パートナーコード	
52	取引先ID	任意	数字	MAX13	0	0	発注者(即/メーカー)企業を表す。事前取決め(契約)により即/メーカー側が 指定。伝票を使用しない場合は「0」固定	O		0	1	0	0	
53	取引先名称	任意	文字	MAX20	0	0	「取引先コード」に対する名称(半角カナ)。即/メーカーで社内構築を作成する際の名称表示に使用 する。	X					支払データフォーマット(CSV・伝票単位) / パートナーコード	
54	取引先名称カナ	任意	文字(半角)	MAX20	0	0	「取引先コード」に対する名称(半角カナ)。即/メーカーで社内構築を作成する際の名称表示に使用 する。	X					送書	
55	商品分類(大)	任意	英数	MAX10	0	0	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売側が決定。(GT、クラス、グループ、カテ ゴリー、ライン、群等)など	O		1001	MAX6		支払データフォーマット(CSV・伝票単位) / 商品分類コード	
56	商品分類(中)	任意	英数	MAX10	0	0	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売側が決定。(GT、クラス、グループ、カテ ゴリー、ライン、群等)など	O		0	1	0	0	
57	計上日	必須	日付	10	0	0	小売側の仕上日。返品の場合は商品計上日。この日付は債権・債務関係が発生する。	O		2015-01-20	10	0	支払データフォーマット(CSV・伝票単位) / 伝票発行日(伝票日)	
58	支払日	任意	日付	10	0	0	小売側が請求者(即/メーカー)に支払い(請求)をする日付。	O					0	
59	請求金額	必須	数字	MAX11	0	0	請求者(即/メーカー)が小売側に対して支払(請求)する金額。	O		0	1	0	0	
60	請求金額符号	必須	文字	1	0	0	請求金額の正負。(例:仕入は+、返品、返引は-)	O		0	1	0	0	
61	支払金額	必須	数字	MAX11	0	0	小売側が請求者(即/メーカー)に対して支払(請求)する金額。	O		9999999	MAX11		支払データフォーマット(CSV・伝票単位) / 請求金額	
62	支払金額符号	必須	文字	1	0	0	支払金額の正負。(例:仕入は+、相殺、返品は-)	O					支払金額の正負。(例:仕入は+、 返品、返引は-)	
63	余額(小売側自由)	任意	数字	MAX11	0	0	請求者(即/メーカー)への支払い以外に開示する項目(小売計上額、請求戻、次回継続 の金額)をセット。	O					支払金額の正負。(例:仕入は+、 返品、返引は-)	
64	余額(小売側自由)	任意	数字	MAX11	0	0	請求者(即/メーカー)への支払い以外に開示する項目(小売計上額、請求戻、次回継続 の金額)をセット。	O					支払金額の正負。(例:仕入は+、 返品、返引は-)	
65	余額(小売側自由)	任意	数字	MAX11	0	0	請求者(即/メーカー)への支払い以外に開示する項目(小売計上額、請求戻、次回継続 の金額)をセット。	O					支払金額の正負。(例:仕入は+、 返品、返引は-)	
66	処理種別	任意	数字	2	0	0	小売側が使用する取引の種別(仕入、返品、相殺、返引)等。業務種別で自由に管理しているコードをセッ トする。小売側でのメッセージ毎の種別は「メッセージ」を使用し、処理種別の内 容で判断を要することが多い。	O					処理種別 01 (普通仕入) 02 (返品) 03 (相殺) 04 (返引) 05 (仕入訂正) 06 (返引訂正) 07 (相殺訂正) 08 (返引) 09 (店舗間相殺)	
67	請求区分	任意	数字	2	0	0	当月(即)請求、前月(即)継続請求を区別する区分。	X					00	
68	支払戻区分	任意	数字	2	0	0	請求(支払)データが、小売側によって戻(商品代金)計上するのにかま払い金(商品以外の代金)計 上するのの区分	X					送書	
69	照合結果	必須	数字	2	0	0	即/メーカーの請求額と小売側の実際額を照合した結果を告知する項目。	O					00	
70	支払内容	必須	数字	4	0	0	支払内容を表すコード。内容はコードリスト参照。	O		1000	4	1000	0	
71	支払内容(種別)	必須	数字	4	0	0	支払内容の内訳。小売側で自由に管理しているコードをセット。	O		0000	4	0000	0	
72	支払内容(種別)	必須	数字	MAX3	0	0	支払内容の内訳。小売側で自由に管理しているコードをセット。	O		0000	MAX3	0000	0	
73	支払内容(種別)	必須	数字	MAX3	0	0	支払内容の内訳。小売側で自由に管理しているコードをセット。	O		0000	MAX3	0000	0	
74	支払内容(種別)	任意	数字	2	0	0	支払内容(種別)に対する名称(半角カナ)。	X					送書	
75	支払内容(種別)	任意	数字	2	0	0	支払内容(種別)に対する名称(半角カナ)。	X					送書	
76	支払内容(種別)	任意	数字	2	0	0	支払内容(種別)に対する名称(半角カナ)。	X					送書	
77	支払内容(種別)	任意	数字	2	0	0	支払内容(種別)に対する名称(半角カナ)。	X					送書	
78	支払内容(種別)	任意	数字	MAX2	1	0	支払内容(種別)に対する名称(半角カナ)。	X					送書	

流通BMS(ver1.3) コードリスト

メッセージ	メッセージ項目番号	名寄せ後項目名	コード	意味	補足等
SBDH	9	テスト区分	1	テストデータ	
発注	75	商品コード区分	004	EAN(JAN)/UCC8桁	GDSの「バーコードタイプリスト」に準拠 GDSのコードを盛り込み済み
			005	EAN(JAN)/UCC13桁	
			006	EAN/UCC14桁(GTIN)	
			007	ITF14桁	
			015	UPC12桁	
			016	UPC8桁	
			999	自社コード	
発注	154	発注単位コード	00	個	00番のみ使用。 他商材で必要なものが出てきた場合に追加。
				g	
				Kg	
				cm	
				m	
				ml(cc)	
				L	
	...				
発注	155	発注荷姿コード	01	バラ	
			02	ボール	
			03	ケース	
			04	パレット	
			05	数字	
出荷	156	出荷荷姿コード	00	無指定	
			01	バラ	
			02	ボール	
			03	ケース	
			04	パレット	
発注	171	商品区分	01	定番	
			02	準特価(中目)	
			03	特売(チラシ)	
発注	172	発注区分	01	本部(計画)発注	
			02	店舗(追加)発注	
			03	センター発注	
			04	客注	
			05	要望発注	
			06	初回発注	
			07	ギフト発注	
発注	173	出荷データ有無区分	01	出荷データ作成要	
			02	出荷データ作成不要	
出荷	174	EOS区分	01	EOS発注	
			02	非EOS発注	
発注	175	納品経路	00	無指定	
			01	店舗直納	
			02	センター納品	
			03	預り在庫より出荷	
発注	176	便No	00	無指定	
			01~09	1便~9便	
			11	プロバー便	定番 Gondラに陳列する商品を選ぶ便
			12	エンド便	エンドに陳列する商品を選ぶ便
発注	177	通過在庫区分	00	無指定	納品経路=店舗直納の場合
			01	TC	
			02	預りDC	納品経路=センター納品の場合
			03	買取DC	
発注	178	納品区分	00	無指定	
			01	総量納品	
			02	店別納品	
			03	直接納品なし	
発注	179	センター納品詳細指示	01	オリコン納品有り	
			02	オリコン納品無し	
			03	ソーター使用	
			04	ソーター未使用	
			05	その他	

メッセージ	メッセージ項目番号	名寄せ後項目名	コード	意味	補足等
発注	181	PB区分	01	PB商品	
			02	PB商品以外	
発注	182	配送温度区分	01	常温	GDSIに準拠
			02	チルド	
			03	冷蔵	
			04	冷凍	
			05	超冷凍	
発注	183	酒区分	01	酒	
			02	酒以外	
発注	184	処理種別	01	発注仕入れ	①チェーンストア伝票の伝票区分にあたる。01～05を業界標準コードとして設定。内容は参照しない。 ②移行期や伝票レス浸透までの間、小売独自の伝票区分を使用できる。但し、処理種別の内容で卸・メーカー側に判断を求めることが無いようにする。 ③②により、小売各社で01～05が別の意味で使用される場合もある。
			02	返品	
			03	移動	
			04	値引	
			05	委託	
			06	受領訂正	
受領訂正 返品	185	配送料免除区分	01	負担有	返品時の配送料の負担の有無
02			負担無		
発注	186	伝票レス区分	01	伝票レス	
			02	伝票あり	
返品	187	返品・値引理由コード	100	受領後の訂正	001～099番は自社独自コードを設定可能。 100は受領訂正メッセージのみに使用。
受領	188	訂正区分	00	訂正なし	
			01	商品違い(取引先責)	
			02	価格違い(取引先責)	
			03	誤仕分け(取引先責)	
			04	汚破損(取引先責)	
			05	遅納品(取引先責)	
			06	鮮度基準外(取引先責)	
			07	数量不足(取引先責)	
			08	数量過多(取引先責)	
			09	その他(小売責)	
請求	189	請求区分	01	今回請求	請求は月単位とは限らないので、「回」表現を使用
			02	前回繰越請求	
請求	190	未払買掛区分	01	買掛(商品代金)	
			02	未払い金(商品以外の代金)	
支払	191	照合結果	00	無指定	
			01	請求照合分支払	支払対象
			02	請求のない返品・値引・相殺	支払対象
			03	再請求請う	支払対象外
			04	計上払対象	支払対象
請求	192	支払内容	1001	仕入明細	支払明細
			1002	返品明細	
			1003	移動明細	
			1004	値引明細	
			1005	委託明細	
			1006	受領訂正明細	
			1007	値増明細	
			2000	相殺明細(代表コード)	相殺明細内容は支払内容(個別)で表記する。
			3001	相殺前支払額	支払合計。振込手数料、消費税は各項目別に支払内容(個別)で明記、対応
			3002	相殺合計	
3003	支払額				
支払	196	支払方法区分	01	手形	
			02	銀行振込	
出荷	197	欠品区分	00	欠品なし	以下頭1桁1は小売責、2は取引先責
			11	マスターメンテミス(小売責)	
			12	発注ミス(小売責)	
			21	納入者品切(取引先責)	
			22	メーカー品切(取引先責)	
出荷	198	輸送手段	01	自社便での直接納品	
			02	運送会社便での納品	
			03	集荷による納品	
			99	その他	

メッセージ	メッセージ 項目番号	名寄せ後項目名	コード	意味	補足等
発注	201	税区分	00	無指定	
			01	原価内税	
			02	原価外税売価内税	
			03	非課税	
			04	不課税	
			05	原価外税売価外税	
発注	302	都道府県コード	XXX	(別紙)	「産地コード」から変更
発注	303	国コード	XXX	(別紙)	ISO-3166に準拠
発注	305	水域コード	01	北海道沖	漁獲統計海区に準じた分類
			02	北海道沖太平洋	
			03	北海道沖日本海	
			04	オホーツク海	
			05	日本太平洋北部	
			06	日本太平洋中部	
			07	日本太平洋南部	
			08	日本海北部	
			09	日本海西部	
			10	東シナ海	
			11	瀬戸内海	
			12	北極海	
			13	北西大西洋	
			14	北東大西洋	
			15	バルト海	
			16	中西大西洋	
			17	中東大西洋	
			18	地中海	
			19	黒海	
			20	南西大西洋	
			21	南東大西洋	
			22	西インド洋	
			23	東インド洋	
			24	北西太平洋	
			25	北東太平洋	
			26	中西太平洋	
			27	中東太平洋	
			28	南西太平洋	
			29	南東太平洋	
			30	南極洋	
99	その他				
00	不明				
発注	312	バイオ区分	00	未適用	
			01	ウイルスフリー苗を使用	
			02	遺伝子組換品種を使用	
			03	遺伝子組換を行ったウイルスフリー苗を使用	
			09	その他	
発注	313	単価登録単位	01	1g当たり	
			02	100g当たり	
			03	1Kg当たり	
発注	316	品種コード	10	和牛(和種)	
			11	黒毛和種	A
			12	褐毛和種	B
			13	日本短角種	C
			14	無角和種	D
			15	黒毛和種×褐毛和種	E: A×B(この種とA又はBとの交雑により生じた種を含む)
			16	和牛間交雑種	F: (A,B,C,D)×(A,B,C,D)。この種とA,B,C,D,E種との交雑により生じた種を含み、A×Bは除く。
			20	交雑種	K: (A,B,C,D,E,F,G)×(H,I,J)。この種とH,I,Jとの交雑により生じた種を含む。
			21	交雑種	HのメスとAのオスとの交雑により生じた種
			22	交雑種	21を除いたK
			30	乳用種	
			31	ホルスタイン	H
			32	ジャージー種	I
			33	乳用種	J: H,Iを除いた乳用種
40	肉専用種	G: AからFまでに掲げる「肉専用種」及びKに掲げる「交雑種」を除く肉専用種、ヘレフォード、シャロレー、アパディーンアンガス種等をいう。			

メッセージ	メッセージ 項目番号	名寄せ後項目名	コード	意味	補足等
発注	317	養殖区分	00	天然	
			01	養殖	
発注	318	解凍区分	00	解凍以外	
			01	解凍	
発注	319	商品状態区分	01	活	
			02	チルド	
			03	冷凍	
			09	その他	
発注	333	取引番号区分	00	T/A型 発注時取引番号発番	
			01	T/A型 追加の取引番号を卸が発番(出荷時)	
			02	T/A型 取引番号小売りが発番(受領で振り直し)	
			10	発注書型 発注書使用の意味(取引番号はゼロ)	
			11	発注書型 取引番号を卸が発番(出荷時)	
			12	発注書型 取引番号小売りが発番(受領で振り直し)	
			21	出荷型 取引番号を卸が発番(出荷時)	
			22	出荷型 取引番号小売りが発番(受領で振り直し)	
発注	334	不定貫区分	00	定貫	
			01	不定貫	
出荷	335	仮伝フラグ	00	本伝	仮単価にて出荷する場合に使用する。
			01	仮伝	
発注	336	バック区分	01	バック	
発注	337	法定管理義務商材区分	00	未使用	
			01	農薬区分	
			02	毒物区分	
			03	劇物区分	
			04	毒薬区分	
			05	劇薬区分	
			06	毒劇物区分	
			07	高度管理医療機器区分	
			08	農薬+毒物区分	
			09	農薬+劇物区分	
			10	農薬+毒薬区分	
			11	農薬+劇薬区分	